

更別村地域公共交通活性化協議会

令和5年4月27日設置



概要

更別村は、北海道十勝管内の南部に位置し、人口3,061人(2024年12月末現在)、総面積176.90km²、東西約25.3km、南北約14.7kmです。東は幕別町、西は中札内村、南は大樹町、北は帯広市とそれぞれ接しており、十勝の中心都市である帯広市から南へ35kmの地点にあります。

○地域公共交通の現況

- ・十勝バス(株) (広尾線)
- ・スクールバス(3路線)
- ・村民バス(更別市街循環)
- ・予約運行型乗合タクシー 等

○地域公共交通の課題

- ・既存の地域公共交通が運行していない休日や運行頻度が充実していない時間帯の運行
- ・帯広空港への移動円滑化
- ・既存地域公共交通の利用方法等の周知 等

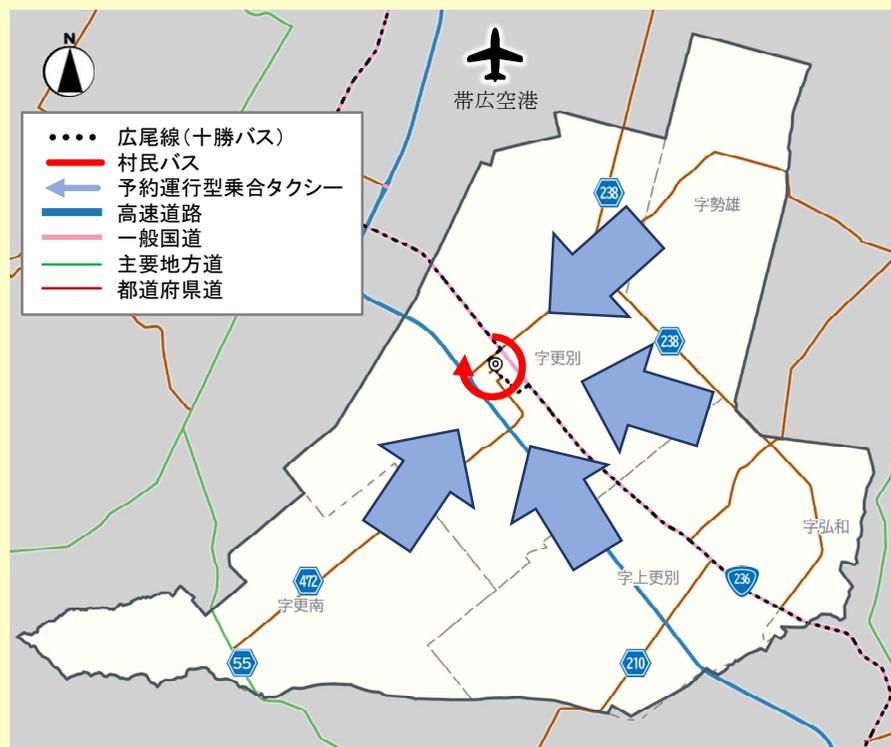
○調査の主な内容

- ・地域公共交通空白の時間帯や曜日
- ・地域公共交通の情報発信についての満足度
- ・他のアンケート調査・日々寄せられるご意見要望を分析した地域住民のニーズ

○地域公共交通活性化協議会開催状況

- 6月21日 第1回協議会を開催
 - ・地域内フィーダー系統確保維持計画案について協議
- 9月4日 第2回協議会を開催
 - ・現況や課題整理、基本的な方針及び事業内容等を確認
- 11月21日 第3回協議会を開催
 - ・次期更別村地域公共交通計画(素案)の確認
- 1月15日 第4回協議会を開催
 - ・パブコメ結果・更別村地域公共交通計画(案)の確認

公共交通の概要



現行の地域公共交通ネットワーク

更別村地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

(上位・関連計画の状況把握)

- 上位・関連計画の公共交通関連に関する記述の整合を図るため、更別村総合計画等の情報を、関係者より収集し、将来の更別村の公共交通に関する基本的な方針の想定に活用した。



計画の位置付けは、更別村の最上位計画である「第6期更別村総合計画」に基づき、更別村が目指すべきまちの将来像の実現に向けて基本的な方針等を整理している。

また、総合施策や福祉等の他分野における各種計画を関連計画として位置付け、相互に補完し合っ、めざすまちの将来像の実現に向けた取組を進めることを整理した。



(更別村地域公共交通網形成計画の評価)

- 網計画に位置付けた指標の評価を行うため、各指標の基礎データを各種関係者から収集し、各種データを集計・分析したうえで達成状況を導き出した。また、今後の対応方針について検討した。



○更別村地域公共交通網形成計画のまとめ

更別村地域公共交通網形成計画の指標は、目標値を下回る結果となったが、更別村地域公共交通網形成計画の計画期間において、村民の意向を把握しながら、村民バスや予約運行型乗合タクシーの運行内容を改善させるとともに、地域公共交通の情報発信に取り組んでいた。

今後においても、村民の意向を把握する機会を確保しながら、本村と多様な主体が連携し、地域公共交通の利便性を高める取組を推進するとともに、地域特性に応じた新たな地域公共交通ネットワークを形成していく必要があると整理した。

更別村地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

(更別村の現況整理)

- 更別村の各地区の概況や、将来の地域公共交通の利用動向等を想定するため、本村の将来人口動向や本村内の地区別人口、都市機能の分布(立地)状況等の最新データを、関係者から収集し、村内の移動に関する現況課題について分析した。

市街地区・農村地区関係なく人口減少傾向にあるが、高齢化率は増加傾向であることを把握し、都市機能が市街地区に集中しているため、農村地区からの移動手段だけでなく、市街地区の移動の利便性の確保が引き続き必要であることを整理した。

(地域公共交通の現況整理)

- 住民の移動手段の状況を把握するため、現在運行している移動手段の名称や取組概要に関する情報、および主要な地域公共交通のサービス水準や主要な地域公共交通の利用状況のデータを、村内関係者や交通関係者より収集し、現況における公共交通課題について分析した。

実施主体を分類し取組概要を整理し、広尾線・村民バス・乗り合いタクシーの利用状況の詳細を把握した。

(各種調査結果の分析)

- 住民の地域公共交通に関するニーズを把握するため、関係者にヒアリングを行い、ニーズ把握可能な情報を収集し分析した。

帯広空港への移動円滑化や村内公共交通の運行がなくなる時間(17時台・休日)の運行ニーズを把握し課題設定している。
また、把握したニーズについては、計画の目標設定に反映させた。

(地域公共交通計画案の作成と協議会開催)

- これまでの内容を踏まえ、基本的な方針や事業立案等を実施
- 計画案作成の進捗段階に応じて協議会を開催

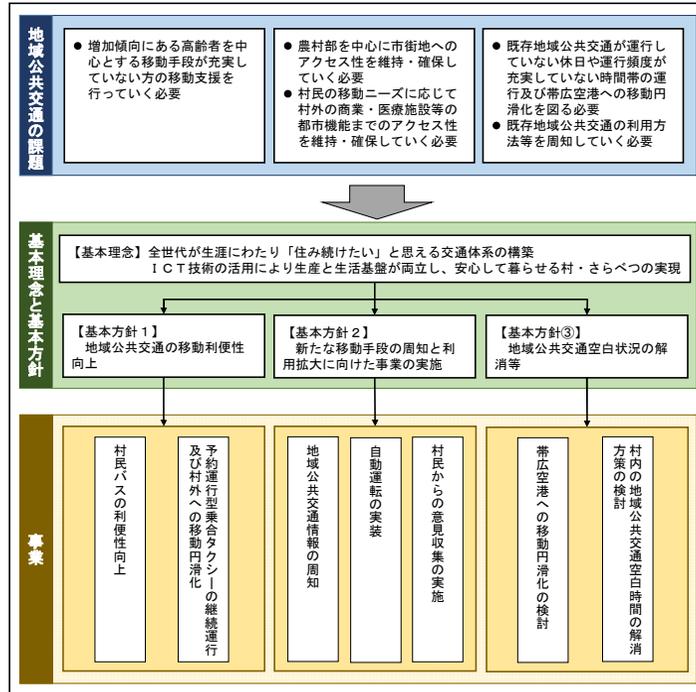
- 第2回協議会(9/4開催)にて、現況や課題整理、基本的な方針及び事業内容等を協議した。
- 第3回協議会(11/21開催)にて、計画(素案)について協議した。
- 第4回協議会(R7.1/15開催)にて、パブリックコメント実施結果等を踏まえた計画案を協議予定

更別村地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

【基本的な方針】

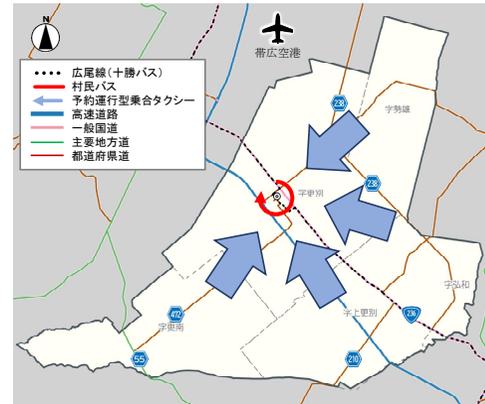
整理した課題に対応する基本理念と基本方針を設定し、基本方針に基づく事業を位置付けている。



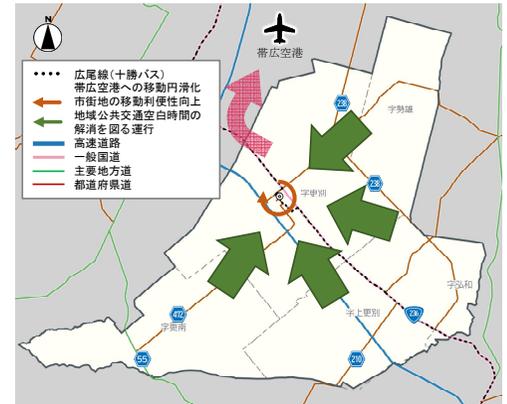
【目指すべき地域公共交通ネットワーク】

農村部から市街地エリアまでのアクセス性を確保し、市街地エリアを循環する村民バスを引き続き運行して村内の都市機能へのアクセス性を確保する。また、村外への移動が可能な広尾線との接続を維持し、都市機能が充実している帯広市までのアクセス性を確保する。

加えて、村内の移動利便性向上のために自動運転の実装を目指して実証実験を実施するとともに、本村から直接アクセスできない帯広空港への移動円滑化や地域公共交通空白時間(休日・17時台以降)の解消のための移動手段を検討する。



現行の地域公共交通ネットワーク



目標とする地域公共交通ネットワーク

基本方針1 地域公共交通の移動利便性の向上

○村民バスの利便性の向上

・・・村内の移動利便性向上及び効率的な運行の両立を図るため、現状の運行ルート及び時刻表を見直す。この際、村民バス利用者の速達性やパターンダイヤの導入等に留意する。

○予約運行型乗合タクシーの継続運行及び村外への移動円滑化

・・・令和6(2024)年4月から村内全域を対象に乗降可能となる変更等を加えており、今後は利用動向を分析しながら、運行内容変更の必要性を整理し、必要に応じて運行計画の見直しを行う。

更別村地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

基本方針2 新たな移動手段の周知と利用拡大に向けた事業の実施

○地域公共交通情報の周知

…「更別村地域公共交通のご案内」において、村民バスのバス停留所の設置がないこと、運行ルート上での自由乗降が可能であること、村民どなたでも利用可能であること、予約運行型乗合タクシーのアプリの使い方等を周知する。この際、新たに導入する移動手段がある場合は、「更別村地域公共交通のご案内」に適宜追加・改訂します。把握した意見をもとに、地域公共交通の改善を検討し、利便性向上につながる施策を実施する。

○自動運転の実装

…市街地の移動利便性向上のため、自動運転の実証実験を行い、自動運転の実装を目指す。

○村民からの意見収集の実施

…村民の意見を把握するため、行政区懇談会等により意見収集を行い、把握した意見をもとに、地域公共交通の改善を検討し、利便性向上につながる施策を実施する。

基本方針3 地域公共交通空白状況の解消等

○帯広空港への移動円滑化の検討

…「帯広空港から車で15分」の距離でありながら、直通の公共機関がないため、意見として上がっており、今後の帯広空港駐車場の有料かなども見据え、まずは村民やサテライトオフィス入居事業者等のニーズ把握を行います。既存の移動手段の見直し等を検討し、帯広空港への移動円滑化を目指します。

○村内の地域公共交通空白時間の解消方策の検討

…夜間・土日祝日に利用できる区域内の移動手段がないことが村民からも寄せられており、地域公共交通空白時間を解消する地域公共交通の運行計画等を検討し、村民の移動利便性向上を目指します。

●事業実施の適切性

関係者等から情報を収集し課題やニーズを把握し、基本的な方針や事業を立案しており、将来に繋がるような計画の策定に繋がったことから、計画通り適切に事業を実施できたと考える。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄